

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 4 月 12 日 (2007.4.12)

【公表番号】特表 2006-523745 (P2006-523745A)

【公表日】平成 18 年 10 月 19 日 (2006.10.19)

【年通号数】公開・登録公報 2006-041

【出願番号】特願 2006-505143 (P2006-505143)

【国際特許分類】

**C 0 8 F 10/06 (2006.01)**

**C 0 8 F 4/02 (2006.01)**

**C 0 8 F 4/6592 (2006.01)**

【F I】

C 0 8 F 10/06

C 0 8 F 4/02

C 0 8 F 4/6592

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 2 月 21 日 (2007.2.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくともメタロセン化合物を含む触媒系の存在下、重合条件下で、プロピレンと、任意に 1 以上の  $\alpha$ -オレフィンを重合させる工程を備え、

a) 触媒系が、有機多孔質ポリマーに担持され、b) 重合反応の少なくとも一部が水素の存在下で実行されることを特徴とする、

式  $\text{C}_2\text{H}_2 = \text{CHZ}$  (式中、Z は、H 又は  $\text{C}_2 - \text{C}_{10}$  アルキル基である。) の 1 以上の  $\alpha$ -オレフィンの誘導単位を 10 モル% までで任意に含む多孔質プロピレンポリマーを得る方法。

【請求項 2】

次の工程：

a) 有機多孔質ポリマーに担持された触媒系の存在下で、プロピレンと、任意に式  $\text{C}_2\text{H}_2 = \text{CHZ}$  (式中、Z は、H 又は  $\text{C}_2 - \text{C}_{10}$  アルキル基である。) の 1 以上の  $\alpha$ -オレフィンを予備重合させ、前記触媒は、メタロセン化合物を含み、重合媒体は、液体プロピレンであり、

b) 水素及び工程 a) で得られる予備重合された触媒系の存在下、重合条件下で、プロピレンと、任意に式  $\text{C}_2\text{H}_2 = \text{CHZ}$  (式中、Z は、H 又は  $\text{C}_2 - \text{C}_{10}$  アルキル基である。) の 1 以上の  $\alpha$ -オレフィンを接触させる、

を備える、式  $\text{C}_2\text{H}_2 = \text{CHZ}$  (式中、Z は、H 又は  $\text{C}_2 - \text{C}_{10}$  アルキル基である。) の 1 以上の  $\alpha$ -オレフィンの誘導単位を 10 モル% までで任意に含む多孔質プロピレンポリマーを得る方法。

【請求項 3】

式  $\text{C}_2\text{H}_2 = \text{CHZ}$  (式中、Z は、H 又は  $\text{C}_2 - \text{C}_{10}$  アルキル基である。) の 1 以上の  $\alpha$ -オレフィンの誘導単位を 10 モル% までで任意に含み、次の特徴：

- 融点  $> 100$  ；

- 空隙の百分率で表現された全多孔度、 $\% V / V_1 > 15$  ；及び

- 分子量分布  $M_w / M_n < 4$   
を有するプロピレンポリマー。